

# レーザーコリメータ

## Laser Collimator

LC-075



- 10倍のビーム拡大
- 回折限界性能
- 小さい波面収差
- ARコーティングされたガリレオ光学システム
- 可視域に最適化

Newportの10xレーザーコリメータは、可視域での波面収差を小さくすると同時に、無限共役比で回折限界性能を得ることができるよう最適化されています。このコリメータのガリレオ光学システムには、最大限の透過率が得られるように可視域用のMgF<sub>2</sub>反射防止コーティングが施されています。焦点は出荷時にあらかじめ無限遠に調整されていますが、簡単に変更することができ、変更後は下に示す手順によって再コリメーティングが可能です。入射開口径が大きいため調整は容易です。これらのコリメータは、使いやすい円筒形レーザー用マウントに取り付けることができます。

### 仕様

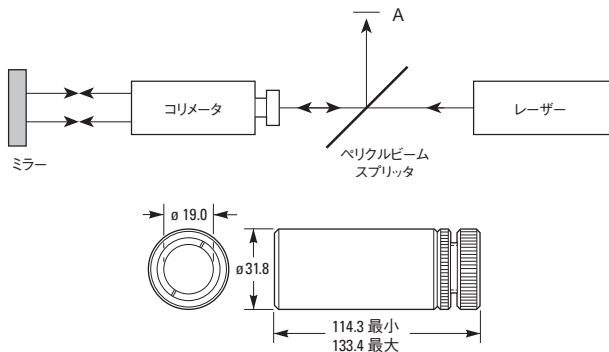
波長	400–700 nm
波面収差	無限焦点でλ/10
透過率	T > 90%
マウント方法	モデルULM、ULM-TIL or V-Blocks
損傷しきい値	100 W/cm <sup>2</sup> CW、2 J/cm <sup>2</sup> 10 nsecパルス、代表値

### 発注のご案内

モデル	仕様
LC-075	レーザーコリメータ、10X、入射開口径1.9 mm、出射開口径19 mm、焦点範囲1 m

### レーザービームのコリメーティング

拡大ビームが平面ミラーで反射されて光学系内を戻り、再び縮小されます。このときA点において観測される反射ビーム径が最小となるようにコリメータを調整します。



ULM-TILTは、あらゆるレーザービームに対してLC-075の位置決めや取付けに最適です。(Laser & Photonicsカタログ参照)



V字ブロック (P340参照)